

- 「JGN2シンポジウム2007 in 広島」の開催について
～JGN2が拡大する知のフロンティア～
- 平成19年1月11日

独立行政法人情報通信研究機構(以下、NICT。理事長:長尾 真)は、NICTが運用する研究開発テストベッドネットワーク「JGN2」(別紙1、2参照)の研究成果の公開、利用する研究者や関係者の相互交流、そして一層の利用拡大を目的に、「JGN2シンポジウム2007 in 広島」を平成19年1月17日(水)～19日(金)、広島国際会議場にて開催します。

本シンポジウムでは、講演やパネルディスカッションを通じて、JGN2を利用した研究活動、地域における利活用状況、JGN2国際回線(米国、タイ、シンガポール)を活用した国際共同実験などについて広く紹介します。さらに、実験研究の実演やパネル紹介を実施する他、「JGN2を活用した研究開発アイデアコンテスト」の表彰式(総務大臣賞、他)等も行う予定です。

記

—JGN2シンポジウム2007in広島—

- ◆日時 平成19年1月 17日(水)13:30 - 18:00
18日(木)9:30 - 17:30
19日(金)9:00 - 16:30
- ◆場所 広島国際会議場(広島市中区中島町1番5号 平和記念公園内)
- ◆主催 独立行政法人 情報通信研究機構
- ◆共催 電子情報通信学会 インターネットアーキテクチャ研究会
- ◆後援 総務省、広島県、広島市、国立大学法人広島大学、広島市立大学、中国経済連合会、広島商工会議所、株式会社中国新聞社、NHK広島放送局、株式会社中国放送、広島テレビ放送株式会社、株式会社広島ホームテレビ、株式会社テレビ新広島、広島エフエム放送株式会社、社団法人日本ケーブルテレビ連盟中国支部、社団法人広島県情報産業協会、特定非営利活動法人中国・四国インターネット協議会、中国情報通信懇談会、中国超高速ネットワーク連絡協議会、デジタルシネマ実験推進協議会、広島地域IPv6推進委員会(順不同)
- ◆内容 プログラムは別紙3を参照
- ◆参加費 無料
- ◆参加申込 本シンポジウムは、事前登録制となっております。(申込期限:平成19年1月16日(火))参加ご希望の方は、JGN2シンポジウムホームページ(<http://www.ilcc.com/jgn2>)をご利用いただくか、FAXにてお申し込みをお願いいたします。

シンポジウム お申込先
JGN2シンポジウム2007事務局
TEL:03-5562-3677 FAX:03-5562-3666

◆その他

当シンポジウムは、「Advanced Internet Tour in Hiroshima, 2007」(2007年1月15(月)～19日(金))の一環として開催され、SAINT 2007(IEEE-CSと情報処理学会共催の国際会議)など、多くの関連する会議やセミナーも同時開催されます。ホームページ: <http://www.csi.ad.jp/ait-hiroshima2007/>

<広報 問合せ先>

総合企画部広報室

栗原 則幸、大野 由樹子

Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<シンポジウムに関する問合せ先>

連携研究部門 テストベッド推進グループ

田中 健二、高西 功

TEL: 042-327-6005

FAX: 042-327-5560



<研究開発テストベッドネットワーク(JGN2)の概要>

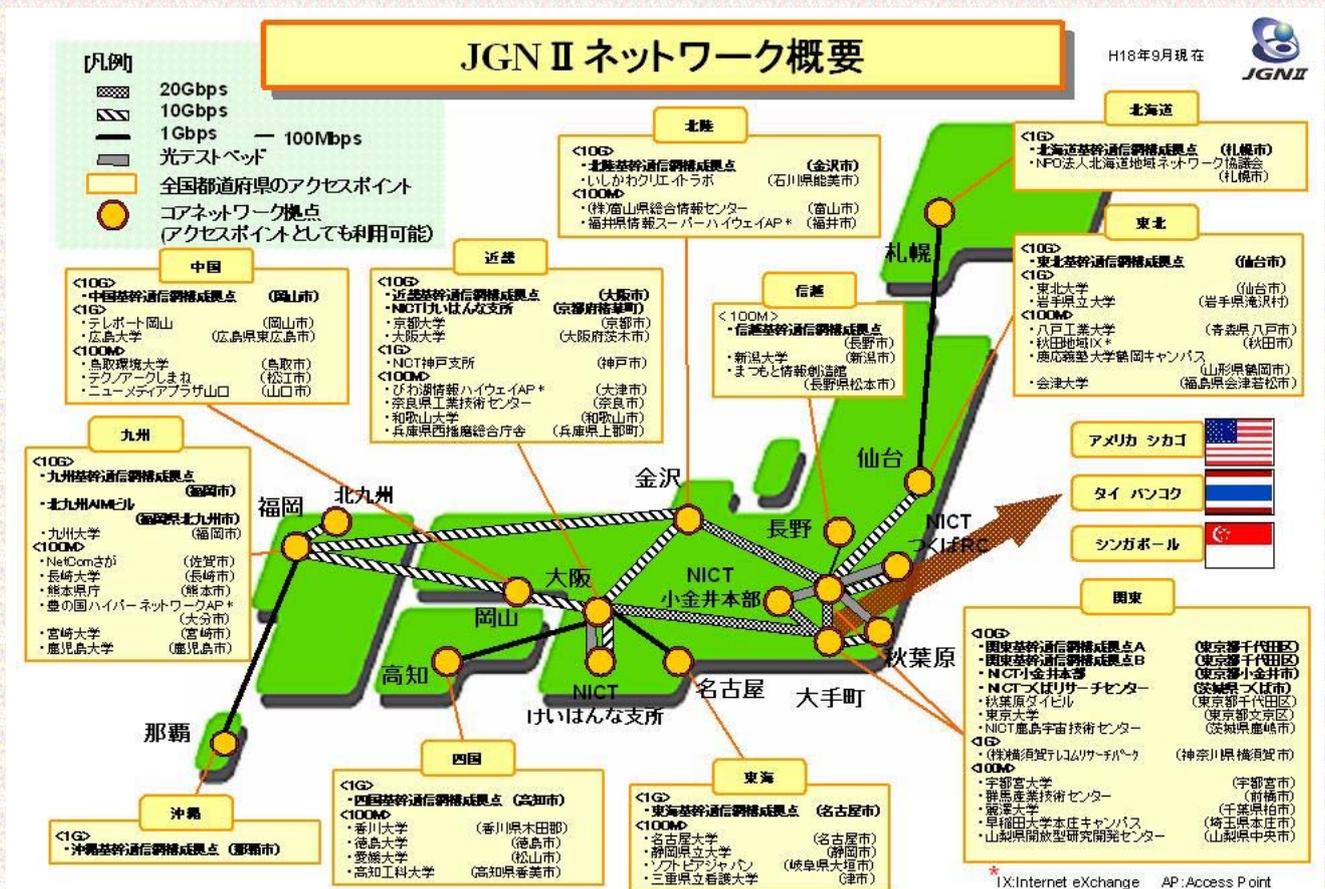
1.目的

- 産・学・官・地域等と連携して、次世代のブレイクスルーにつながるネットワーク関連技術の研究開発やアプリケーションの開発など、基礎的・基盤的な実証実験を推進します。
- 実践的な研究活動を通じて、情報通信分野の人材育成を推進します。
- 地域における研究活動等を通じて、地域の活性化を推進します。

2.特徴

- 光とIPを基本としたネットワーク
- 最大20Gbps(10Gbps×2)の超高速ネットワーク
- 各都道府県にアクセスポイントを設置(計64箇所)
- 最先端の光交換機を導入し、高速交換等を実践
- 多様な実験が可能な光テストベッド環境を併せて整備
- 日米回線(平成16年8月から運用開始)、シンガポール・タイ回線(平成17年11月から運用開始)についても併せて整備

(詳細は、<http://www.jgn.nict.go.jp> をご参照ください。)



<シンポジウムちらし>

Advanced Internet Tour in Hiroshima 2007

JGN II シンポジウム2007 in 広島

～JGN II が拡大する知のフロンティア～

17 (Wed) 13:30～18:00

- ▶ 13:30～13:50 開会あいさつ
- ▶ 13:50～14:30 基調講演
 テーマ: マグログローバルリサーチネットワーク
 村井 純 (慶應義塾大学 教授)
- ▶ 14:30～15:00 特別講演
 テーマ: マ印画におけるデジタル化対応状況
 久保田 翔夫 (大日本印刷株式会社 CAI事業部A.T推進室 室長)
- ▶ 15:00～15:20 研究開発アイデアコンテスト表彰式
 「第2回JGN II を活用した研究開発アイデアコンテスト」
 総務大臣賞、最優秀賞、優秀賞
- ▶ 15:30～17:20 パネルディスカッション1
 テーマ: マ今後のICT分野における研究開発の動向
 チェア: 尾原 祐二 (九州工業大学 教授)
 パネリスト: 佐藤 巖 (慶應義塾大学 教授) 宮本 亮治 (日本電信電話株式会社 ネットワークサービスシステム研究部 主任研究員)
 前田 秀雄 (広島市立大学 助教授) 高田 良己 (株式会社中興建設 IT開発部長兼管理センター長)
 安本 百雄 (松下電器産業株式会社 ネットワーク開発センター 部長)
- ▶ 17:20～18:00 デモ見学・ポスターセッション (国際会議ホール「ヒマワリ」)
 レセプション
 プログラム終了後、レセプション(飲料)を予定しております。
 参加を希望される方は、事前登録の際にあわせてお申込みください。

◆17日(水)の10:30～12:00まで、大会会場「タリア」にて、第6回次世代高度ネットワーク推進会議利用促進部会を開催します。

18 (Thu) 9:30～17:30

- ▶ 9:30～10:30 デモ見学・ポスターセッション (国際会議ホール「ヒマワリ」)
- ▶ 10:30～12:00 研究紹介
 チェア: 相原 玲二 (広島大学 教授)
 利用促進委員プロジェクト
 電子情報通信学会 IA/情報処理学会 QA
- ▶ 13:30～15:00 パネルディスカッション2 (BAINTとの合同セッション) ※英語 (同時通訳あり)
 テーマ: Beyond Ubiquitous Computing and Networking:
 Status and Future of Research on Ubiquitous Computing and Networking
 チェア: 下條 真司 (大阪大学 教授)
 パネリスト: Erich J. Neuhold (ウィーン大学 教授) Professor, University of Vienna
 Joseph E. Urban (アリゾナ州立大学 教授) Professor, Arizona State University
 Zhiwei Xu (中国科学院計算機研究所 教授) Professor & Deputy Director
 Institute of Computing Technology, CAS
- ▶ 15:00～15:30 デモ見学・ポスターセッション (国際会議ホール「ヒマワリ」)
- ▶ 15:30～17:30 パネルディスカッション3
 テーマ: ネットワークの今後の展開
 チェア: 青山 友記 (金沢大学 教授)
 パネリスト: 江崎 浩 (筑波大学 教授) 久保田 文人 (独立行政法人情報通信研究機構 新世代ネットワーク研究センター センター長)
 関口 賢嗣 (独立行政法人産業技術総合研究所 グリッド研究センター センター長) 中野 彰宏 (筑波大学 助教授)
 山岡 克式 (東京工業大学 助教授)

19 (Fri) 9:00～18:30

- ▶ 共催研究会によるパラレルセッション
 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
 情報処理学会高品質インターネット研究会

五十巻友 敬啓

※当日のスケジュール・会場内容は予告なく変更することがございます。あらかじめご了承ください。

デモ見学/ポスターセッション
1月17日(水)～1月18日(木)の2日間、会場(広島国際会議場)の国際会議ホール「ヒマワリ」において、各研究機関の研究開発事例を紹介したデモ見学及びポスターセッションを行います。

- ・主催 独立行政法人情報通信研究機構
- ・共催 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会/情報処理学会高品質インターネット研究会
- ・後援 総務省/広島県/広島市/広島大学/広島工業大学/広島県立大学/中国経済連合会/広島県工業連盟/株式会社中興建設/NHK広島放送局 株式会社中興建設/広島テレビ放送株式会社/株式会社広島ホームテレビ/株式会社テレビ朝日/広島工芸工業株式会社 社団法人日本ケーブルテレビ連盟/中国放送/社団法人広島県商工連合会/社団法人広島県建設業協会/中国情報処理学会/中国情報処理学会 中国情報処理学会/デジタルシナマ研究開発センター/広島地域PvS推進委員会



JGN II SYMPOSIUM 2007 in Hiroshima